

腰椎椎間板ヘルニアとは

変性した椎間板が出っ張ることで神経が圧迫されて、お尻から足にかけて痛みやしびれなどの症状が現れたり、腰が痛んだりする病気です。

腰椎椎間板ヘルニア治療について

治療法には大きく3つのステップがあります。

合併症やヘルニアのタイプ、症状によって選択できる治療法は異なります。

腰椎椎間板ヘルニアと思われる症状がある方は、まずは医師にご相談ください。

ステップ1

保存療法

- ・ 安静
- ・ 薬物治療
鎮痛剤や湿布薬、塗り薬等
- ・ コルセット
- ・ 神経ブロック

ステップ2

椎間板内酵素注入療法

椎間板内に酵素を含んだ薬剤を直接注射して、ヘルニアを縮小させる治療法です。

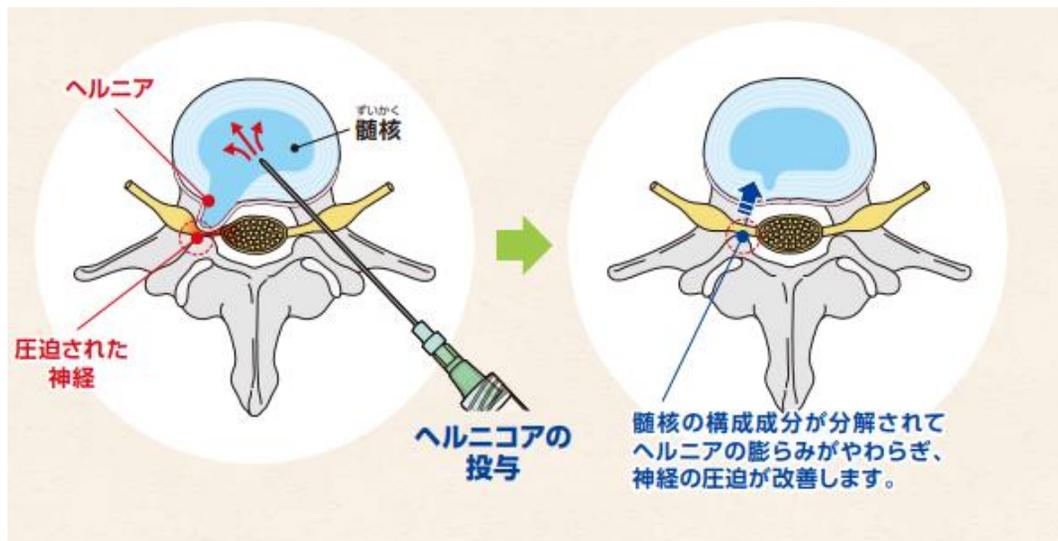
ステップ3

手術療法

切開による方法や顕微鏡や内視鏡を用いた方法などがあり、数日から1・2週間程度の入院が必要です。

ヘルニコアとは

椎間板内酵素注入療法に使用する薬剤で、ヘルニアを起こしている椎間板の髄核内に直接注射します。椎間板髄核中におけるグリコサミノグリカンを特異的に分解することにより、椎間板内圧を低下させる作用があります。



ヘルニコアの治療手順

①レントゲン台に横になり体の位置を調整します。

X線でヘルニアのある椎間板を確認しながら、針を刺す場所を決めます。

↓

②針を刺す位置を消毒します。

↓

③ヘルニアのある椎間板内に針を刺し、ヘルニコアを注射します。

↓

④しばらく安静にします。薬による副作用がないかなどの確認をします。

↓

⑤医師の診察を受け、問題がなければ帰宅できます。

医師の判断で1～2泊の入院となる場合があります。

